

# 議会だより

vol.46  
2016・11・1



**高校生が重機で風船割りに挑戦！**  
(北広島町産業フェア2016にて)

## 第3回定例議会〈会期：9月8日～9月26日〉

- ▶ 平成27年度歳入歳出決算 .....2
- ▶ 議案に対する質疑・討論 .....4
- ▶ 議案審査の結果、発議 .....5
- ▶ 議長あいさつ、核実験抗議決議 .....6
- ▶ 一般質問 14議員が町政を問う .....7
- ▶ グループ紹介(われもこう) .....14
- ▶ がんばってます(広島県立加計高等学校芸北分校) .....15
- ▶ 哀悼決議 .....16

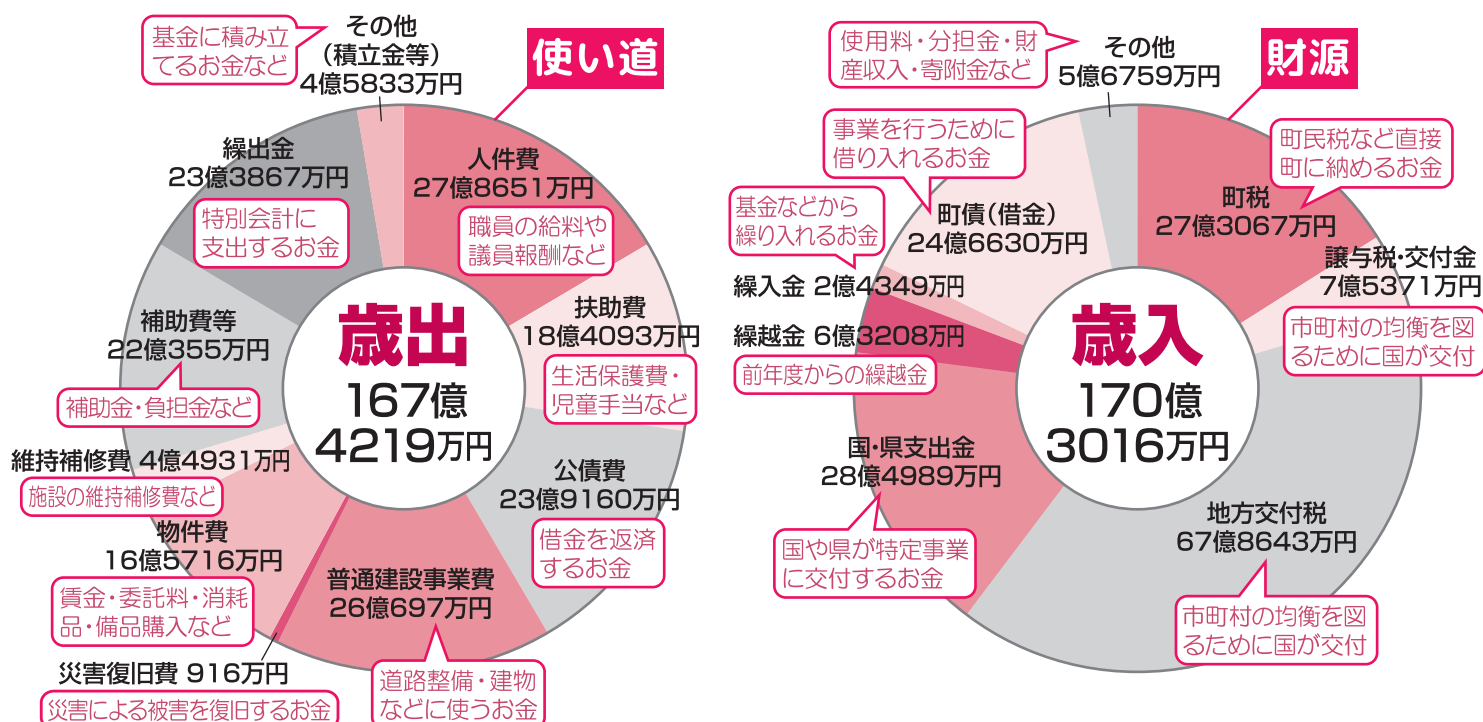
9月定例議会が9月8日から26日までの19日間の会期で開催された。

今議会には、報告3件、特別職報酬審議会条例など条例2件、山県郡西部衛生組合解散に伴う4議案、平成28年度補正予算12件、平成

27年度会計決算認定13件（決算審査特別委員会に付託）、その他2議案が提案された。

審議の結果、全ての議案及び陳情を認定、採択し、北朝鮮の核実験抗議決議及び議員定数削減条例を議員提案し可決した。

# 平成27年度 一般会計決算



平成27年度一般会計決算の内訳

▲は減額

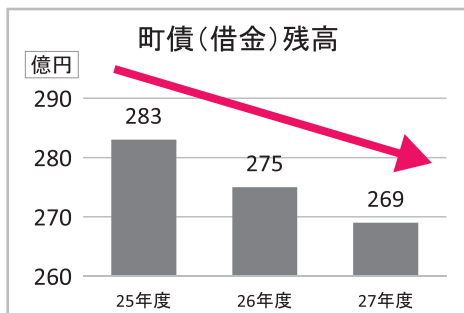
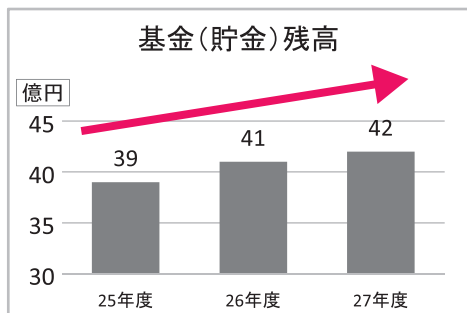
項目	27年度	26年度	比較増減
歳入(財源)	町税	27億9807万円	▲6740万円
	譲与税・交付金	5億5862万円	1億9509万円
	地方交付税	71億439万円	▲3億1796万円
	国・県支出金	25億4920万円	3億69万円
	繰越金	6億5094万円	▲1886万円
	繰入金	2億3959万円	390万円
	町債(借金)	21億3261万円	3億3369万円
	その他	5億5496万円	1263万円
	合計	165億8838万円	4億4178万円
歳出(使い道)	人件費	28億1132万円	▲2481万円
	扶助費	18億338万円	3755万円
	公債費	24億4197万円	▲5037万円
	普通建設事業費	20億4165万円	5億6532万円
	災害復旧費	6555万円	▲5639万円
	物件費	17億1942万円	▲6226万円
	維持補修費	4億2120万円	2811万円
	補助費等	19億5688万円	2億4667万円
	繰出金	22億7194万円	6673万円
	その他(積立金等)	4億2300万円	3533万円
	合計	159億5631万円	7億8588万円

町の公共施設は、建物の耐震や施設の老朽化の問題が多く見受けられ、今後、長期的視野に立った施設の更新、統廃合、長寿命化の計画を進めてほしい。債権管理にあたっては、債権情報を共有・連携し、徴収事務にあたっては、豊平病院については、引き続き常勤医師の確保など、指定管理者、町及び地域住民が協力して地域医療を支える病院として経営の健全化を進めていただきたい。

監査委員の  
審査意見  
代表監査委員 山根千昭  
監査委員 中村勝義



箕野町政が誕生した平成25年度から平成27年度決算において、借金にあたる町債は、一般会計が1億4084万円増えたものの、一般会計と特別会計を合わせ13億9005万円減額、貯金にあたる基金は、一般会計が3億7483万円増え、全体でも3億5432万円増額となった。財政の健全化を判断する指標は「いずれも適正」と認められ、実質公債費比率は16.7%で新たな借金をするために国や都道府県の許可が必要となる18%を下回っている。



箕野町政になって  
財政状況は  
どうなってるの？

町債(借金)残高内訳 (出納閉鎖時: 翌年度5月末) (万円単位で四捨五入しているため計が含まない場合がある)

会計名	27年度	26年度	25年度	2年前との比較
一般会計	168億7285万円	166億2372万円	167億3201万円	1億4084万円
特別会計	下水道	40億1653万円	42億6375万円	▲4億5177万円
	農業集落	24億6887万円	26億2056万円	▲3億1501万円
	簡易水道	17億6061万円	18億7987万円	▲2億6269万円
	電気	3億1393万円	3億3862万円	▲4895万円
	診療所	287万円	312万円	99万円
	情報基盤	15億1360万円	17億5299万円	▲4億5346万円
小計	100億7641万円	108億5891万円	116億730万円	▲15億3089万円
合計	269億4926万円	274億8263万円	283億3931万円	▲13億9005万円

基金(貯金)残高内訳 (出納閉鎖時: 翌年度5月末)

会計名	27年度	26年度	25年度	2年前との比較
一般会計	39億6616万円	37億6165万円	35億9133万円	3億7483万円
特別会計	国民健康保険	1億5214万円	1億4719万円	825万円
	介護保険	1億988万円	1億2186万円	635万円
	簡易水道	96万円	96万円	0
	電気事業	1874万円	1873万円	1227万円
	情報基盤	20万円	1917万円	▲4738万円
小計	2億8192万円	3億791万円	3億243万円	▲2051万円
合計	42億4808万円	40億6956万円	38億9376万円	3億5432万円

財政は健全か？

監査委員の意見は

「いずれも適正」

区分	健全化判断比率	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
決算健全化比率	平成25年度	—	—	17.2	105.7
	平成26年度	—	—	16.7	95.9
	平成27年度	—	—	16.7	88.1

3億1000万円増で予算総額153億円に



私立保育所の事故防止の  
ビデオ設置用の補助金

850万円

要望が多い町道・河川  
維持、修繕

9080万円



今田川(薪水館付近)

平成28年度 一般会計

補正

補正の主なものは、町道や河川の維持修繕や除雪、町内企業紹介冊子の作成、千代田IC高速バス停防風雪シート設置、薬師公園の植栽伐採、道の駅・舞ロードIC千代田「緑の広場」への階段設置など。

## 決算審査特別委員会質疑(抜粋)

### 一般会計

#### 【歳入】・【歳出】

Q 不納欠損や収入未済額が増となった原因は。  
A 財産がない場合や生活困窮、所在不明など。  
Q 個人町民税が減額になった理由は。  
A 農業所得の減など。  
Q 農業用自動車のナンバー交付は適正か。  
A 税金の申告時などに聞き取り適正に処理している。

Q 入湯税の滞納繰越分が入っていない理由は。  
A 現年度分から納付され納入処理をしている。  
Q 区長手当が少ないが今後の見直しは。  
A 町長が必要と考えれば報酬審議会で審議する。

Q 旧町に交付されている地域づくり交付金の算定根拠は。  
A 均等割＋人口割＋イベント補助金で構成。

Q 臭気対策の状況は。  
A 汚泥臭気は定期的に立ち入りをを行い指数の高い時は改善を指導している。

Q 上下水道断水の給水支援負担金とは。  
A 他市町からの救済水道職員の時間外手当や交通費など。

### 特別会計

#### 【歳入】・【歳出】

##### 国民健康保険

Q 資格証の発行件数は。  
A 資格証41世帯62人。短期証107世帯177人。

Q 資格証41世帯62人。短期証107世帯177人。

### 下水道

Q 下水道引き込み工事と合併浄化槽との選択は。  
A 下水道区域内なら下水道工事で行う。

### 介護保険

Q 保険料を上げ結果として4000万円繰り越した。上げなくても良かったのでは。

A 3年間の介護計画を踏まえ保険料算定をした。

### 簡易水道

Q 水道事業との総合時期と滞納の対応は。  
A 水道事業に今年度末、統合する。給水停止予告をした後、滞納1万円で給水停止をする。

### 情報基盤

Q 防災無線廃止(平成31年度末)に伴う対策は。  
A きたひろネットへの加入とその方法を考える。

### 後期高齢者

Q 滞納の場合差し押さえもあるのか。  
A 昨年3件。

### 水道事業

Q 1月に断水したが水不足の対応は。  
A 予備井戸にポンプをつけて緊急時に対応準備中。

### 病院事業

Q 今年の4月から指定管理者に病院経営を任せているが状況は。  
A 外来も伸びている。1日平均約100人

Q 3月までの未収金はあるか。  
A 12人で22万8000円。

### 総括質疑

Q 道の駅は売上・出荷者数が伸びず、温水プールは旧町の利用者も不明で当初目標を達成していないのではないのか。  
A 両方とも効果はある。

Q 税金の課税公平化は進んでいるか。①空家屋の均等割課税。②固定資産税の現況課税の徹底。③軽自動車税(農業機械やフォークリフトなど)の課税漏れ。  
A 各税目で公平・公正な対応を行っている。

## 議案に対する討論

### 一般会計歳入歳出決算

#### 反対討論

美濃 孝二

町民のためにお金が使われていない町民の暮らしが苦しい時、町民のためにお金が使われているかどうか検証することが重要。しかし箕野町長誕生の際、大きな疑問と批判が上がった「道の駅」「温水プール」は当初目的を達していないことが明らかであるにもかかわらず、「効果があつた」と評価することに同意できない。また解放団体補助金、マイナンバー制度導入のためのシステム改修を未批判に続けており認定できない。

### 国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定

#### 反対討論

美濃 孝二

高すぎる国保税に悲鳴  
国保税が払えない人が多く、このままでは国民皆保険制度を崩しかねない。高すぎる国保税の負担を軽くするための一般会計から法定外繰入れを行っていない。  
また資格証の発行をやめようとせず認定できない。

### 介護保険特別会計歳入歳出決算の認定

#### 反対討論

美濃 孝二

介護保険料を大幅値上げした

介護保険料は重い負担で暮らしを脅かしている。にもかかわらず国も認める一般会計からの繰入れをせず、大幅に引き上げ県内で2番目に高くなった。

さらに特養ホームへの入所資格を要介護3以上に限定し、1割負担だった費用を所得160万円以上の方2割負担に引き上げたため認定できない。

### 議会議員定数条例の一部改正

#### 反対討論

美濃 孝二

民意を反映する議会の力を弱める  
議員自ら決めた議会基本条例前文には「全体の奉仕者としての品格をもち町民から信頼されるよう常に研さんすることを決意」しており、その努力こそ求められているのであって、定数を減らし町民の代表としての力を弱めることではない。よって反対する。

### 町民世論や社会情勢も考慮

#### 賛成討論

中田 節雄

議員定数の削減は、より多くの町民の声を町政に反映するためには好ましいことではない。全国的にも定数減の方向であり、定数十六名にしても明確な根拠があるわけではないが、町民世論や社会情勢も考慮して、賛成討論とする。



平成28年 9 月定例議会 議案審査の結果

■全員一致で採択された議案・提案

平成27年度	北広島町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	平成28年度	北広島町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
	北広島町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について		北広島町下水道事業特別会計補正予算（第1号）
	北広島町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について		北広島町農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）
	北広島町電気事業特別会計歳入歳出決算の認定について		北広島町介護保険特別会計補正予算（第2号）
	北広島町芸北財産区特別会計歳入歳出決算の認定について		北広島町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）
	北広島町診療所特別会計歳入歳出決算の認定について		北広島町電気事業特別会計補正予算（第1号）
	北広島町情報基盤整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について		北広島町芸北財産区特別会計補正予算（第1号）
	北広島町水道事業会計利益の処分及び決算の認定について		北広島町診療所特別会計補正予算（第1号）
北広島町豊平病院事業会計決算の認定について	北広島町情報基盤整備事業特別会計補正予算（第2号）		
北広島町特別職報酬等審議会条例について		北広島町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	
北広島町簡易水道設置条例の一部を改正する条例について		北広島町水道事業会計補正予算（第1号）	
芸北広域環境施設組合を組織する地方公共団体の区域の変更及び芸北広域環境施設組合同約の変更について		山県郡西部衛生組合の解散について	
財産の無償譲渡について（幼年消防用鼓笛隊セット）		山県郡西部衛生組合の解散に伴う財産処分について	
財産の取得について（小型ポンプ付消防車）		山県郡西部衛生組合の解散に伴う事務の承継並びに決算の審査及び認定について	
提 案	北朝鮮による核実験に抗議する決議		

■賛否が分かれた議案

議 案 名		議 員 名																○ 賛成 ● 反対		審査結果
		真倉	中田	久茂谷	藤堂	梅尾	森脇	室坂	中村	伊藤	浜田	藤井	蔵升	田村	美濃	大林	宮本			
平成27年度	北広島町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
	北広島町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
	北広島町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
	北広島町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
平成28年度北広島町一般会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
北広島町議会議員定数条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決

■請願・陳情等の審議・採決

件 名	請 願 陳 情 者 名	審査結果
森林吸収源対策の推進に必要な予算及び安定的財源の確保について	太田川森林組合 代表理事組合長 佐々木 徹	採 択
県道新庄千代田線 通称学園通りの舗装改良についての陳情書	上市地区行政区長 田中重秋 ほか5名	採 択
町道拡幅改修に関する陳情について	水根部落 部落長 弓場周哲 吉木水根部落 部落長 猪丸敏子	採 択
「防犯カメラの設置」に伴う町の助成についての陳情書	新庄地区連合会長 森田隆司 ほか8名	採 択

議員発議

北広島町議会議員定数条例の一部を改正する条例

〔改正内容〕

・議員定数を18人から16人にする。  
（議員定数16人は次の一般選挙から適用する。）

〔改正趣旨〕

議員定数は、民主主義の根幹をなすべきもので、町政にも参加できる条件を整えるべきであるが、定数については、社会情勢も考慮すべきとの意見が多数あり、合同常任委員会で協議の結果、北広島町議会議員の定数を削減することとした。

なお、本条例の提出と併せて、町に対し北広島町特別職報酬等審議会において議員の報酬等について早急に審議されるよう強く求めるものである。

## 議長就任あいさつ



北広島町議会議長  
藤堂修壮

この度の北広島町議会議長改選にあたり、議員皆様の暖かいご推挙をいただき、本町議会議長に選ばれましたことはこの上ない光栄であり、心より感謝いたします。

一方、責務の大きさを痛感し、身の引き締まる思いでございます。

もとより浅学非才ではありますが、職務に対し気迫をもって全うするよう努力して参らねばならないと固く決意しております。

また議会運営につきましては、公正かつ円滑な運営に努め、町民の皆様の期待にそえる議会運営を目指し、さらなる本町発展につなげなければならぬと考えております。

今後も誠心誠意努力する所存でございますので、町民皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。挨拶といたします。

### 議長改選による

### 委員会構成の変更

#### ○総務常任委員会

委員長 森脇誠  
副委員長 美濃孝二  
中田節雄  
加計雅章  
蔵升芳信

#### ○議会運営委員会

委員長 蔵升芳信  
副委員長 浜田芳晴  
真倉和之  
森脇誠  
伊藤久幸  
大塚正之  
宮本裕之

#### ○議会広報特別委員会

委員長 梅尾泰文  
副委員長 美濃孝二  
久茂美保  
森脇誠  
室坂光治  
藤井裕之  
宮本裕之

### 北朝鮮による核実験に抗議する決議

北朝鮮は9月9日、全世界からの批判を顧みず5回目の核実験を強行した。これは、この間繰り返された弾道ミサイル発射とともに、一刻も早い核兵器廃絶・全面禁止を願う全世界の人々の思いを踏みにじり、北朝鮮の核・ミサイル開発の放棄を求めた国連安全保障理事会決議、6力国協議の共同声明に違反する断じて許すことのできない暴挙である。

わが北広島町は、被爆地広島市に接し、多くの被爆者やその子ども達が平和に暮らす非核平和宣言の町である。再び核兵器による悲惨な事態を絶対に繰り返してはならないと強く決意しており、核実験を強行した北朝鮮は絶対に許すことはできない。

よって、本町議会は、核実験を強行した北朝鮮政府に対し、強く抗議するとともに、すべての核兵器を即刻廃棄し、今後いかなる核実験、弾道ミサイルの開発を行わないよう強く求めるものである。

さらに、日本政府に対しては、被爆国として、「核兵器禁止条約」の交渉開始のため、積極的に主導権を発揮するよう求める。

以上、決議する。

平成28年9月26日

広島県 北広島町議会



# 14議員が町政を問う

どうする？  
私たちの町づくり

## 一般質問の順番と質問項目

ページ	質問議員	質問項目	ページ	質問議員	質問項目
7	森 協 誠 悟	町道草刈りにアダプト制度の活用を	11	藤 井 勝 丸	財政等の課題への取り組みは
8	梅 尾 泰 文	豊平病院の現在と今後は	12	室 坂 光 治	再び県町道沿いの法面等の立木伐採について問う
		年金のシステムに加入及び啓発状況は			
	大 林 正 行	箕野町政1期目の総括と2期目への決意を問う	12	藤 堂 修 壮	連携中枢都市圏を問う
9	美 濃 孝 二	真の住民自治を確立する“まちづくり条例”を	13	真 倉 和 之	職員のモチベーションアップと人材育成方針を問う 集落活性化（集落カルテ）集落支援員について 公共施設や土地の活用や処分について問う
10	中 村 勝 義	個人情報保護法と情報開示の見解を問う 農業振興策を問う	13	浜 田 芳 晴	次世代を考える パート12 次世代を考える パート13 次世代を考える パート14
10	宮 本 裕 之	北広島町における水田畦畔の管理労力軽減対策を問う 観光産業再生へ「広島～島根・世界遺産周遊ルート」創設で集客増を	14	伊 藤 久 幸	わさ環境公園と周辺の施設整備は 鳥獣被害防止総合対策交付金制度の導入を
	中 田 節 雄	お試し住宅の今後の展開について問う 元気づくり事業の今後の展開について問う		田 村 忠 紘	テングシデを活かしたまちづくりを



森 協 誠 悟

**問** 広大な面積を持つ本町は、町道の総延長も大変長く、町道法面等の草刈りは行政の力だけでは無理があり、共助協働の精神による地域住民の力に頼っているのが現状である。家の前などの町道は、「自分がやるのが当たり前」になっている状況の中で、過疎・高齢化が進み、草刈りは自己所有の畦畔でも困難な状況であり、ましてや公共の町道ではなおさらである。町自らが草刈りを実施している町道の線路数と距離はどのくらいか。

**答** 建設課長 21線路、44km全体の約5%。  
**問** 広島県が2000年から導入しているアダプト制度により活動されている町内の団体数はいくつか。  
**答** 建設課長 現在32団体である。  
**問** 県内では、江田島市や世羅町などがアダプト制度を導入している。本町も町道に対してこの制度を活用するべきと思うが、町の意見を問う。

**答** 建設課長 昨年も検討した。各地域協議会へ助成しているし、申請手続も済んでいる。  
**答** 町長 これまでどおり地域協議会への助成が一番理解されやすいと思っている。今年度は草刈り助成として250万円を増額した。  
**問** この制度は、他の町有施設・土地の草刈り等にも適用できる。草刈りについて、抜本的な見直しが必要ではないか。  
**答** 町長 ※アダプト制度とは「養子縁組をする」という意味があり、地域住民等がボランティアで道路の草刈り等をして、我が子のように面倒をみる制度。

**問** 町道草刈りに「アダプト制度」の活用を  
**答** これまでどおり  
地域協議会への助成で対応する



梅尾 泰文

問

豊平病院の現在と今後は

答

次第に経営は改善している

問 4月から医療法人齊和會に指定管理者として地域医療を任せましたが、常勤医師は確保できたのか。

答 保健課長

確保できていない。

問 医師をはじめ医療スタッフは何人必要か。

答 保健課長

医師1名、看護師5名、診療放射線技師、理学療法士、作業療法士、柔道整復師、医師事務作業補助者が各1名必要。10月に数名採用予定あり。

問 4月から稼働しているのに、職員補充がないのはなぜか。

答 保健課長

診療状況の把握と就業規則整備の遅れから。

答 保健課長

労働強化はないか。

問 4月以降患者は増え活気づいている。

答 保健課長

以前より職員が減って患者が増えていけば長時間勤務になるのはではないか。

問 職員間でフォローし合っている。

答 保健課長

7月は62%。

問 3年間の指定管理料は約9億円であるが、病床稼働率40%で試算していたが変更するのか。

答 保健課長

今年はしない。今後は実績を見て検討する。

問 指定管理料は変更なし。収益は伸びている。国保や後期高齢者医療は伸び町財政を圧迫している。

答 保健課長

医療は必要な時にかかるものである。



豊平病院



大林 正行

問

箕野町政1期目の総括と2期目への決意は

答

再び町民の皆さんの信任を得て全力で取り組む

問 箕野町政1期目の総括は。

答 町長

公約の中でも最優先課題とした道の駅第2期整備工事の見直し、高校生までの医療費の軽減、政策立案室の設置の3点はすべて完了した。

若者定住を中心とした定住対策、子育て支援策、集落活性化対策、産業経済の活性化対策にも積極的に取り組んだ。

答 町長

今年度第2次長期総合計画を策定する中で、これからの歩みを着実に進めていかなければならないと考えており、再び町民の皆さんの信任を得て全力で取り組む決意である。

財政面では財政の健全化を示す実質公債費比率は平成24年度の17・5%を平成27年度16・7%に減少させることができた。これは、豊平小学校校舎や壬生小学校校舎の新築など多くの投資的事業に取り組む中で実現したものである。

若者定住対策としてUターン奨励金、家賃補助金の創設などにより人口動態において転入が転出より多い、いわゆる社会動態がプラスに転じ3年間継続している。県内では広島市、東広島市以外で





美濃 孝二

問

真の住民自治を確立する  
「まちづくり条例」の制定を

答

住民自治・協働のまちづくりの  
出発点にしたい

問 町長は「まちづくり条例をつくり情報共有・住民自治・住民投票をすすめる」と公約したが3年半の町政運営は町民の声を反映したものであったか。

答 町長

豊平病院等、時間的余裕がなく早急に結論を出さざるを得ないこともある。

問 豊平病院問題は決めていく過程が問題、事前に説明すべきだった。まちづくりの方法をルール化した条例をつくる必要がある。行政がもつ情報は住民のものとの考えか。

決めたいく過程が問題、事前に説明すべきだった。まちづくりの方法をルール化した条例をつくる必要がある。行政がもつ情報は住民のものとの考えか。

答 企画課長

基本的な考え方を共有するための条例にする。法令で制限されるものを除き情報は住民と共有する。

問 ニセコ町の様に中学生もわかる予算書を全戸配布してはどうか。

答 財政課長

他市町の方法も研究し改善を加える。

問 ニセコ町では予算編成過程を完全公開しインターネットで中継している。

答 財政課長

他市町の先進的取り組みも参考に「開かれた町政」の実現に努める。

問 住民投票は。企画課長

考え方を規定することがある。

問 町職員の地域担当制の明記を。企画課長

踏み込んだ条文にする。

問 町の憲法であるまちづくり条例を住民参加で仕上げよ。町長

最初からニセコ町レベルにはいかないうちが出発点にしたい。



全戸配布しているニセコ町の説明書

	芸北	大朝	千代田	豊平	合計(ha)
加工用米	13.79	36.56	40.87	21.41	112.63
米粉用米	6.94	27.47	0.00	0.00	34.41
WCS米	0.00	19.74	11.32	33.04	64.10
飼料用米	0.94	7.41	42.60	5.97	56.92
飼料作物	70.91	20.92	19.69	10.29	121.81
小麦	0.00	0.00	76.46	1.54	78.00
大豆	0.56	0.74	12.70	4.25	18.25
そば	2.36	0.06	0.17	52.21	54.80

主な生産調整作物ha

答 農林課長

中山間地域の経済活性化のためには、基幹産業である農業が元気になることが二次、三次産業の発展につながると思える。平成28年度農業振興対策を問う。



中村 勝義

問

農業振興対策を問う

答

経営所得安定対策を  
中心に取り組む

問 「人・農地プラン」で位置付けられた中心経営体への町全域での農地集積率の推移と目標。

答 農林課長

平成24年度8・1%、平成25年度10・7%、平成26年度35・1%、平成27年度36・1%、平成32年度目標45%。

個人情報保護法と  
情報開示の見解は

問 個人情報保護法は、個人情報保護をしながら有効に活用するための法律であり、元来隠すための法律ではない。職務上の取り扱い方針を問う。

答 生涯学習課長

平成27年の成人式から一般の参加者には名簿を出していない。非公開・公開の根拠はない。今年からは該当者各人に公表の良し悪しを確認の上、公表する。

答 総務課長

個人の権利・利益を保護することを目的とすることから、情報によって特定の個人が識別され、また識別され得るものについてはその情報の保護に関して措置を講じる必要がある。

問 成人式の対象者名簿非公開の根拠は。



宮本 裕之

**問** 水田畦畔草刈り作業の  
労力軽減対策を問う

**答** 新規工法や雑草成長抑制剤の  
開発に期待する

**問** 中山間地域農業、特に稲作経営の大きな課題の一つに高齢化による労力不足が挙げられる。とりわけ畦畔管理における草刈り作業は、傾斜がきつく、かつ長い法面が多く存在する本町では過酷さと危険が伴う重労働である。畦畔管理労働軽減に有効な対策は何か。

**答** 農林課長

畦畔管理の労働力軽減は、高齢化が進む本町の大きな課題である。畦畔管理の省力化には、防草シートやカバープランツ工法（芝等を生殖）、

コンクリート被覆工法が挙げられるが、どれも一長一短があり最適といわれるものはない。平成19年から2年間センチピーチグラス（芝張り）の施行に補助をしたが、広がりはない。新規工法や雑草成長抑制剤の開発が見込めれば研究して取り組んでいきたい。

**世界遺産周遊  
ルートの創設で  
観光客の集客を**

**問** 観光産業は東京

オリンピックの決定を受けて大きく成長が見込める産業であ

る。島根県の石見銀山、石見半紙、壬生の花田植、原爆ドーム、安芸の宮島を結ぶ陰陽世界遺産ルートの創設で外国人観光客や修学旅行生を本町の民泊等に生かすことを検討してはどうか。

**答** 商工観光課長

島根、広島の世界遺産を活用できる地理性を活かし、近隣市町とも連携を取り、新たな観光ルートの創設に取り組み集客を図っていく。



中田 節雄

**問** お試し住宅の  
今後の展開について問う

**答** インパクトある  
助成制度を考えていく

**問** 国の第一次審査では、不採択となっているが、見通しは、

**答** 企画課長

事業を見直し、8月2日に採択された。

**問** 入居の目的とターゲットは。

**答** 企画課長

目的は様々で若い世代を対象にしている。

**問** この事業は本町以外でも取り組まれている。農業後継者、

Uターン者と同様に

空き家への定住者にも、人口増の視点から、助成制度が必要

ではないか。

**答** 企画課長

定住者から意見を

求めて、インパクトある助成制度を考えたい。

**元気づくり事業の  
展開について問う**

**問** 各地でこの事業

が取り組まれ、参加

者は次第に増えている。体力向上、コミ

**答** 保健課長

ュニティの場として最適である。更に充実していくための課題は。

**答** 保健課長

参加者を増やすこと、男性の参加者が少ないので体操の効果

を広く知って頂くため、広報していく。

**問** この事業は、地域の人が集まり、参





藤井 勝丸

**問** 町財政等の諸課題への取り組みを問う

**答** 事務事業の見直し等  
効率的な財政運営に努める

**問** 本町の財政状況と課題は。

**答** 財政課長

類似団体に比べ、将来負担比率、公債費比率、人件費・物件費率が高い。

自主財源の確立、内部管理費の削減、体力にあった財政、効率的な財政運営に努める。

**問** 人件費、物件費の削減は。

**答** 総務課長

第1、2次行政改革で職員を81人削減した。更なる事務事業の見直しが必要。これから作成する第3次行政改革大綱で方向性を示す。

**問** 人件費・物件費率が高い要因となつて

いる支所機能の充実、町単独消防運営の検討は。

**答** 総務課長

支所機能の改善、見直しが必要である。

**答** 消防長

当面は町単独運営を続けるが、課題については検討する。

**問** 公共交通機関の確保、効率化は。

**答** 企画課長

昨年策定した「北広島町地域公共交通網形成計画」により検討し、効率的運営に努める。

**問** 豊平病院の健全化は。

**答** 保健課長

常駐医師・看護師の確保に引き続き努力する。健全化に努め、今年度作成する「豊平病院・診療所改革プラン」で健全化計画を示す予定。

**問** 将来の負担、人件費率、消防、公共交通、病院問題など山積する課題について町長の所見は。

**答** 町長

税收の伸び悩み等財政は厳しい。社会保険費などの増加がみられる。事務事業等の見直し、将来を見据えた財政運営、町民の理解を得て、協働の町づくりをめざす。



室坂 光治

**問** 再び県道沿い法面等の立木伐採について伺う

**答** 現地調査し  
緊急性の高い箇所は伐採している

**問** この時期道路沿いに雑木立木が覆い

茂り道路側の法面歩道に雑木や立木の木枝が伸び放題である。

一般質問で何度かこのことについて質問しているが、危険な

箇所も多々あり、早急に対応して安心安全に通行ができることを望んでいる。町

道総延長870キロメートルの現地調査を計画されているか問う。

**答** 建設課長

現地交通の支障となつて立木等については情報を頂いた箇所について職員で現地調査を行い、極めて緊急性が高い

箇所は所有者に了承を得て伐採をしている。調査計画につい

ては、立木等に限りず昨今問題となつて

いる落石についても監視体制が必要であ

ると考えている。しかし、相当の延長があるため多大の経費がかかり現在そのこ

とについては検討を進めている。

**問** 道路整備について北広島町ではイタ

ーンやUターンを進めている。本町に移り住んで頂くならば

道路整備は大変重要なことだと思う。このことが実現できれば人口増加に結びつ

くのではないか。

**答** 町長

道路周辺の環境整備は大変重要な課題の一つと

思っているが、このことが人口増加に繋がるかは不明だが移住された皆

様の意見も聞きながら進めていきたいと考えている。

いずれにしても限られた財政の中充分検討していきたい。



藤堂 修 壮

問

連携中枢都市圏を問う

答

本町にメリットのある  
取り組みを進める

問 広島広域都市圏  
と連携中枢都市圏の  
違いは。

答 企画課長

広島広域都市圏は  
23年前に日常生活や  
経済面でつながりの  
強い24市町で構成し  
職員育成や神楽、食  
と酒など地域資源の  
活用を目的としてい  
る。連携中枢都市圏  
は国の制度で、広島  
市と近隣市町が協約  
を結び連携中枢都市  
圏を形成し、一緒に  
活性化を図る構想で  
事業に対し交付税が  
ある。ベースは広島  
広域都市圏構想にあ  
る。

問 中枢都市圏構想

のメリットは。

答 企画課長

研修制度の共有や  
東京や大阪など大都  
市圏への観光事業へ  
の取り組みとPR、  
救急体制や高度医療  
の共同化そして公共  
交通の充実強化など  
スケールメリットに  
よる住民サービスの  
向上。

問 農産物の圏域内

での地産地消や、観  
光客の圏域内周遊な  
ど本町経済の引き上  
げにどのようなにつ  
ながるのか。

答 企画課長

この事業は5年計  
画で、まずは研究段  
階であり経済への取  
り組みは今後整理す  
る。

問 広域都市圏構想

に森林保全と清流確保  
の提言をして水源税の  
提案はできないか。

答 企画課長

中山間地域自伐林  
業支援事業がある。  
この事業は森林保全  
と清流確保に努める  
ものであり本町の強  
みである。森林と清  
流について今後研究  
調整をする。

問 強いリーダーシ

ップが必要である。  
町長の構想は。

答 町長

本町の地域資源を  
活用し経済活性化に  
つなげる。



真 倉 和 之

問

公共施設や  
土地の活用処分について

答

未利用資産は順次売却を進める

問 町有の遊休地

は、第2次北広島町  
行政改革大綱の新た  
な財源の確保で処分  
可能な資産は、民間  
等への賃貸譲渡を行  
うとされている。計  
画的な売却を含めた  
処分を考える時期で  
あり、どう取り組む  
のか。また未利用の  
借地で遊休地はどれ  
くらいあるのか。借  
地で活用していない  
土地に借地料を支払  
っている実態がある  
のか。

答 財政課長

町有の遊休地は行  
政改革大綱に位置付  
けられている。現在  
利用されていない土

地は維持管理費がか  
さみ、その有効利  
用、処分等の処置が  
必要であると考えて  
おり、昨年度町有の  
遊休地は、現地調査  
を行い、一定の整理  
をする。

現在の使用状況等  
を踏まえ、売却その  
他有効活用の可能性  
が高い土地は、課題  
等を整理し、活用ま  
たは売却に向けた検  
討を積極的に行なっ  
て行く。未利用の借  
地にも借地料を支払  
っており、現在把握  
している土地は4件  
で公共施設の移転や  
統合によるものであ  
る。その他の借地

は、現在または将来  
的に不要と判断した  
ものは地権者へ返還  
を求めていく方向で  
検討する。



旧千代田町庁舎駐車場





浜田 芳晴

問 次世代を考えるパート⑫⑬⑭

答 集荷センターを計画する

問 パート⑫ 親元研修に国の支援策は。

答 農林課長

ない。

問 親元で研修から就農する場合はどうか。

答 農林課長

就農計画書と町がみとめれば青年就農給付金が受けられるが5年で親元から経営を譲り受けるなどの要件がある。

問 子供の情報を知ることから始まると思うが考えは。

答 農林課長

農業委員会などを利用する。

問 パート⑬ 芸北く千代田広域農道の

付帯事業は堆肥センターであったが、12年のリサイクル法で農家は自分の所に作った。これにかわる事業が必要なのでは。

答 農林課長

野菜の集荷センターを計画している。

問 将来近いうちにJAは県内一農協になる。よって一集荷センターに賛成する。農家の意見を聞きコストが下る仕組みを考え農家の手取りが多くなることを。

答 農林課長

農家の意見を聞くことから始める。

問 パート⑭ 豊平観光協会の総会で町

花ササユリの保護と増殖、また、花を利用した観光を考えてはと意見が出たが、たとえば庄原市の住民が考えたオープンガーデンなどはどうか。

答 農林課長

里山の草刈りを進めることで保護し、増殖は関係者と協議し方法を考える。

答 商工観光課長

現在の観光協会のパンフレット花めぐりの精査とオープンガーデンを参考にしたい新しい企画を考える。



伊藤 久幸

問 わさ環境農業公園と周辺の施設整備は

答 運営協議会有識者と協議し有効活用を諮る

問 次世代エネルギーパークの拠点「わさ環境農業公園」今後の有効利用は。

答 町民課長

管理棟はセンターハウスとし改修し環境保全のための提示情報発信、環境教育を啓発する場として利用。運営協議会、有識者の意見集約し有効活用をはかる。

問 利用策として

①特産品開発加工場  
②障害者の授産施設等が提案。取組は。  
③指定管理者制度の導入はあるか。

答 大朝支所長

①6次産業化への取組は了承。財源は

国補助金等を促す。

②国補助金制度はあるが極めて困難、検討を継続する。

③手法として制度導入は考えられる。

問 棟、精製プラント等の維持管理は。

答 町民課長

利便性を考慮し必要に応じ修繕する。

鳥獣被害防止総合対策制度導入を

問 野生鳥獣被害の深刻化、広域化を防止する取り組みや施設整備、ジビエ活用

の取り組み等の支援制度。本町の取り組みは。

答 農林課長

主に集落単位が対象。補助率55%。被害実態調査や設置にかかる費用対効果等の算定が必要。単年度での実施は困難。

導入について、有害鳥獣捕獲対策協議会、猟友会等と協議検討を重ねる。

問 鳥獣被害対策実施隊の設置は。鹿、猪捕獲一頭8000円加算。計1万5000円。

答 農林課長

規定制約等があるが各単位猟友会に制度説明し、協議しながら制度導入について検討していく。



田村 忠 紘

**問** 世界中でここしかない光景が北広島町にある。

国の天然記念物の指定を受けたテングシデの群落である。その存在は、ネットの普及によって多くの人が知るところとなったが、残念ながらローカルの域を脱していない。

今後、貴重な観光資源として、情報発信や周辺整備を行い、観光客の誘致を図るべきと思うが。

**答** 商工観光課長

珍しい樹木の群落と町木でもあるテングシデは、北広島町が誇れる観光資源で

**問** テングシデを活かしたまちづくりを

**答** 広く情報発信をして観光客誘致に努力する

ある。

周辺の発展を図る  
でも広く情報発信、  
致に努力する。

観光案内板の設置等  
を行い、観光客の誘



国天然記念物「大朝のテングシデ群落」(北広島町の町木)

## グループ紹介



練習風景

コーラスグループ

**われもこう**

(大朝地域)

代表者 竹岡 則子

10月12日、コーラスグループ「われもこう」の練習取材しました。

4年前、JA広島北部大朝地域女性部の活動の1つとして発足し現在、部員数は21名。10月に結成したので秋の野に咲く花「われもこう」にちなみ名付けたそうです。

練習は毎月第1と第3水曜日にJA大朝支店の2階、

指導は鷹野主文子先生です。

練習曲は幅広いジャンルを楽しみながら、春の里山コンサート、秋の文化祭などに出演されています。「新たな友だちづくりの場になっっている」「先生が素晴らしく基本から教えてもらえる」「ストレス発散、健康のため」「ここに来るのが楽しみ」と、笑顔が輝いていました。

歌詞の深い意味をしつかりとらえ、澄みきった歌声が心に染み渡ります。



2016年4月の里山コンサート (千代田グループのみなさんと)



がんばっています!!

# 広島県立加計高等学校 芸北分校

誠実・自主・気魄

『地域を愛し、地域から愛される生徒を育てる学校』

『地域に支えられ育ってきたことを認識させ、地域から愛される学校づくりを推進する』

芸北分校は「芸北学園構想」における地域の最高学府であることを常に意識し、保小中高が地域と一体となり、『長幼の序を重んじ、先輩の背中を見て自らを律することができ、後輩の模範であり得る生徒』を育成することが地域社会における学校の使命と考え、県内「唯一無二の分校」として発展を続け、創立68年目を迎えました。

現在86名の生徒が在籍し「鍛え、磨き、輝く芸北分校」をスローガンに掲げ、教職員、生徒が互いに「磨きあい」「磨かれあい」輝くほどの魅力を発信しながら「芸分魂」を「学習」「部活動」「学校行事」等でいかになく発揮しています。

今年度は「主体的な学び」をさらに発展させる「授業づくり」及び、

本校がこれまで実践してきた総合的な学習の時間「みのり学習」における「課題発見・解決学習」をさらに進化させる取組を行っています。

部活動においても「神楽部」が「第27回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演」のオープニング上演で見事な舞を披露しました。さらにこれから本格的なシーズ



芸北神楽典演大会



夏の大会

徒ら名が、広島県代表として7人制ラグビーで国体中国ブロック大会に出場するなど「新たな挑戦」も始まっています。



国体ブロック大会第3位

ンを迎え、全国大会での活躍が期待されるスキー部をはじめ、野球部、陸上部、卓球部、ソフトテニス部、バレーボール部など各部活動が県大会等で「芸分魂」を見せてくれています。

また、女子バレーボール部に所属する生

## 中高合同体育祭



学校行事では、第12回中高合同体育祭において、『気炎万丈』のスローガンのもと、澁刺としたパフォーマンスを披露してくれました。圧巻は「中高生一斉の入場行進」周囲に響き渡る掛け声とともに、力強い行進が行われました。

これからも芸北分校は「地域のシンボル」として輝き続けるために様々なことに「チャレンジ」していくことで、「地域を愛し、地域に愛される生徒を育成」していきます。今後とも御支援・御協力をお願いいたします。



【発議第7号】

## 哀悼決議



柿原 徳則 議員

平成28年8月22日亡  
(享年68歳)



故 北広島町議会議員 柿原徳則氏は、  
8月22日、病により逝去されました。  
まことに痛恨の極みであり、哀惜の情にたえ  
ません。  
ここに北広島町議会の決議をもって恭しく哀  
悼の意を表します。

以上、決議する。

平成28年9月8日

北広島町議会

## 表紙の写真



今年で2回目となりました町内企業を  
紹介する「北広島町産業フェア」が、10  
月1日(土)2日(日)の2日間にわた  
り道の駅舞羅ロードIC千代田で開催され  
ました。

ステージショーではお笑いコンビのシ  
ソックスによるトーク&ライブや企業によ  
る神楽や花田舞太郎ミニライブが多くの  
来場者を楽しませてくれました。

また、北広島町商工会建設業部会の建  
設重機(バックホー)に乗って、ハンド  
ルレバーを自ら操作して風船を割るとい  
う体験コーナーが小さな子どもから高校  
生まで好評でした。

【ご意見や提案の連絡先】  
050-5812-1862  
(議会事務局まで)

【発行責任者】  
議長 藤堂 修壮  
【議会広報特別委員会】  
委員長 梅尾 泰文  
副委員長 美濃 孝二  
委員 久茂谷美保之  
委員 森脇 誠悟  
委員 室坂 光治  
委員 藤井 勝丸  
委員 宮本 裕之

## 議会だより45号のお詫びと訂正

・5ページ議案に対する主な質疑

【財産処分(土地)】

Q 売却金額は妥当か(770万円)

A 町売払い規定で算出している

【課税】(固定資産税を0.7で割り戻したものの)

【正】(固定資産税評価額を0.7で割り戻したものの)

訂正してお詫びいたします。

## あしがき

会期19日間の9月定例会  
会が終了しました。27年度  
決算や28年度補正予算等  
の質疑採決を行いました。  
同僚議員の柿原徳則氏  
の席は空白で、さみしい  
議会になりました。

前回の6月定例会の議会広報  
づくりには、柿原議員も広報委員  
として共に汗をかきました。  
これからの活躍を期待してい  
たところですが残念でなりません。  
ご冥福をお祈りいたします。